

### 特定施設の種類ごとの数変更届出書

H24年4月1日

(あて先) 福岡市長

住所 〒 800-0000

届出者 東京都〇〇区△△1-2-3

氏名又は名称

株式会社〇〇  
代表取締役社長 〇〇

(法人にあってはその代表者の氏名)

注2

電話番号 092-000-0000  
担当者名 営業課 XX XX

注3

騒音規制法第8条第1項(第7条第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇 福岡支店		※ 受付年月日					
工場又は事業場の所在地	福岡市中央区天神 〇-〇-〇		※ 施設番号					
			※ 備考					
特定施設の種類	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)
1-へ せん断機	●●-〇	5.5 kW	1	3	10:00	10:00	19:00	19:00
2 空気圧縮機	●-△ (〇△社製)	7.5×2 kW	1	0	0:00	-	24:00	-
2 送風機	△〇- 〇●	11kW	0	2	-	非常時のみ	-	

注4

注5

- 備考
- 1 特定施設の種類ごとの数に変更がある場合であっても、法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種類については、記載しないこと。
  - 2 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときにはその記号並びに名称を記載すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 用紙の大きさは、日本産業規格 A4とすること。

注1 市に届け出た日付になります。

注2 届出に関する担当者の連絡先を必ず記載してください。後日連絡をすることがあります。

注3 騒音規制法、振動規制法、福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例で、それぞれ届出書の様式が異なりますので、確認してください。

注4 「騒音・振動関係法令の概要」に記載されている名称を記載してください。

注5 どのように施設を変更したのか、全体像がつかめるように記入してください。

直前の届出の際には、計上されていなかった施設（もともと無かった施設）や、直前の届出の際では計上したが今回の届出の際には無くなっている施設（廃棄した施設）についても記入してください。

また、工場内のすべての特定施設（種類、能力、数）について、別紙に記載したものを添付してください。

※ 届出は工場全体で、施設がどのように増減したかで届出が必要かどうか、騒音・振動が増減するかどうかを判断します。

注6 施設が多く届出書に書ききれない場合は、同様の内容の一覧表を作成し、別に添付してください。

例：振動規制法の場合（同じ特定施設の種類であっても、能力ごとに記載が必要です）

特定施設の種類	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)
<b>2 圧縮機</b>	OX-O	7.5 kW	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>9:00</b>	<b>-</b>	<b>17:00</b>
<b>2 圧縮機</b>	OO-◆●	15 kW	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>9:00</b>	<b>9:00</b>	<b>17:00</b>	<b>17:00</b>
<b>7 印刷機械</b>	△△機械製	22.5 kW	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>9:00</b>	<b>9:00</b>	<b>17:00</b>	<b>17:00</b>

#### 【特定施設の配置図の記入例】

特定施設設置（使用）届出書（記入例）を参照してください。